

○ハウス資材や燃油等の高騰により、収量や販売金額の増加による**所得向上**が必要である。

○キュウリの所得を上げて経営を安定させるために、キュウリ部会「胡青会」20戸を対象として**環境制御技術の普及や研修会等による栽培技術の向上**、に加え**モデル農家4戸の経営分析による経営改善支援**を行う。

○新技術の普及による収量増加及び面積拡大による所得の向上を目指す。

所得400万以上の農家数 5戸 所得10%以上向上者数 3戸

具体的な成果

普及指導員の活動

1 生産技術と経営改善による個別所得の向上

- ・モデル経営分析結果から、所得目標に応じた経営規模の指標や技術目標を示すことが出来た。
- ・収量増加や規模拡大による**所得400万円以上の農家数増加（4戸→11戸）**
- ・**所得10%以上向上農家数（3戸）**
- ・経営安定により、経営拡大への意欲が高まり面積拡大（9戸）や雇用型経営農家（9戸）が増加した。

1 生産技術と経営改善による個別所得の向上

- ・企画会議による経営改善、検討会の開催
- ・モデル農家の技術・経営の現状分析と面談
- ・モデル農家等の個別巡回指導
- ・農業経営相談所を活用した経営改善研修会や規模拡大農家への検討会の開催
- ・経営指標パンフレットの作成



経営研修会



経営指標パンフレット

JA伊万里のキュウリ経営モデル
経営ステージ別農家の経営分析から、段階に応じた経営指標を作成

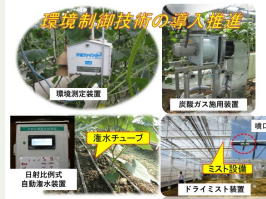
栽培ステージ	1B	30k	40k	
空きハウス・先進農家研修無加温ハウス栽培	収量目標	1B	30k	40k
加温ハウス栽培	売上(A)	450万円	750万円	1,000万円
	生産費(B)	236万円	354万円	461万円
	年間収益(C)	30万円	70万円	100万円
環境制御ハウス栽培	売上(A)	184万円	326万円	439万円
	生産費(B)	184万円	326万円	439万円
	年間収益(C)	0円	0円	0円
労働時間	1,500時間	2,400時間	2,500時間	

2 生産技術の改善と普及

- ・環境制御技術の導入推進や研修会等により収量が安定した。
- ・「隔離培地養液栽培」の実証試験では**反収が約40t**で、胡青会平均の165%増となった。

2 生産技術の改善と普及

- ・環境制御技術の実態調査と実証
- ・環境制御技術資料の作成
- ・研修会による栽培技術の向上
- ・新技術「隔離培地養液栽培」の実証



環境制御技術

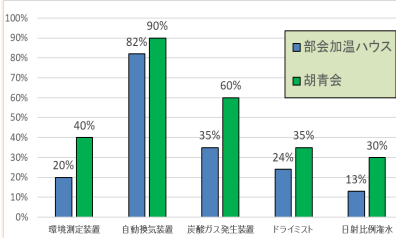


隔離培地養液栽培

普及指導員だからできたこと

- ・専門技術に基づく指導を行い、収量の安定と所得の向上に繋げることができた。
- ・モデル農家の分析により目標となる経営指標を作成し「胡青会」全体へ普及することができた。

環境制御装置導入状況



隔離培地養液反収

